

「自助」「共助」「協働」で災害に強い街づくりをめざそう！ 岸根町町内会自主防災だより （第9号）

2023年（令和5年）5月 自主防災部発行

2023年5月5日「子供の日」、午後2時42分ごろ、に石川県^{すずし}珠洲市で震度6強の地震がありました。

珠洲市では男性(65歳)がはしごから転落して死亡しました。また、建物倒壊被害や22人のけが人がでました。まだまだ余震が続いています。

先日配布しました「防災ファイル」は、お読みになりましたか？是非、熟読して下さい。

「家具の転倒防止策」の実施、「非常用飲料水」「非常用食料品」などは確保してありますか、災害は忘れないうちに必ずきます。準備は確実にしましょう！！

守ろう大切な命、身につけよう応急手当

今回は、けがをした時の大出血時の「応急手当」について学びます。

ガラス破損や転倒した際に発生したケガでは出血することがあります。特に「大出血」では失血死の危険が伴います。

- 1 出血には動脈性出血、静脈性出血、毛細管性出血があります。動脈性出血は噴出するような出血です。静脈性出血は湧き出るような出血です。毛細管出血はにじみ出るような出血です。
- 2 動脈性出血が続くと次のような症状が見られます。

①顔色が蒼白 ②表情がぼんやり ③冷汗 ④皮膚が青白く冷たい

※成人の血液量は、体重の13分の1から14分の1（約7～8％）といわれています。

この総血液量の20％を失うと**ショック症状**がでます。30％失うと生命に危険を及ぼすことになります。**大出血は急激に血液を失います。**

3 止血の方法

- (1) 止血は直接圧迫です。出血部位をガーゼやタオルなどで直接圧迫して出血を止める方法です。
- (2) 清潔で厚みのあるもので出血を十分に覆うことができる大きさがあること。
- (3) 感染防止のため、なるべくゴム手袋やビニール袋などを使用しましょう。

